

【使用上の注意】

製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

3.組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 成分及び含有量 : 電解次亜塩素酸ナトリウム活性水 500ppm・残り 水
- 適用法令関連成分 : 該当しない(建築基準法: 建築内装材規格: 該当せず。ホルムアルデヒド放散量 $5 \mu\text{g}/\text{m}^3 \cdot \text{h}$ 以下)

4.応急処置

- 吸入した場合(大量の場合): 被災者は空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合(大量の場合): 多量の水で洗い流す。
- 目に入った場合(大量の場合): 直ちに清水で 15 分以上注意深く流水洗浄後医師の診断をうける。コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け必要に応じ医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合(大量の場合): 水で口の中を洗浄し、コップ 1~2 杯の水又は牛乳を飲ませる。直ちに医師の診断を受ける。被災者の意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
- 応急処置をする者の保護 : 救助者は可能な限り保護具(手袋、眼鏡)を着用する。
- 医師に対する特別注意事項 : 情報なし

5.火災時の処置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、耐アルコール性泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水、等
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、塩素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
消火作業は可能な限り風上から行う。
関係者以外は安全な場所に退避させる。
周囲の設備などに散水して冷却する。
消化のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう、適切な処置を行う。
- 消化を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡)を着用する。
燃焼ガスには、塩素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には適切な呼吸用保護具を着用し、煙やガスの吸入を避ける。

6.漏出時の処置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時処置 : 作業には必ず保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
- 除去方法 : 少量の場合、吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。
多量の場合、人を安全な場所へ退避させる。
盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。

二次災害防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。火花を発生しない安全な用具を使用する。床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄の為の設備を設置する。
注意事項 : 眼及び皮膚への接触を避ける。変質の原因となるため小分けした本剤を元の容器に戻さない。
安全取扱注意事項 : 作業の換気を十分行う。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、皮膚や粘膜に触れたり、眼に入らないよう注意する。取扱い後は、手、顔等よく洗い、うがいをする。

保管

適切な保管条件 : 製品の直射日光や凍結を避け、換気の良い屋内で容器を密栓して保管する。
安全な容器包装材料 : 製品容器に準ずる。

8.暴露防止及び保護処置

設備対策 : 蒸気、ヒューム又はミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標) : 知見なし
管理濃度 : 知見なし
保護具
・呼吸器の保護具 : 通常の取扱いでは特に必要ない。
状況に応じて防毒マスク(有機ガス用)を着用する
・手の保護具 : 不浸透性(耐薬品性、耐油)保護手袋
・目の保護具 : 保護眼鏡
・皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業着、ゴム長靴
適切な衛生対策 : この製品を使用するとき、飲食、喫煙をしないこと。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

9.物理的及び化学的性質

物理的状态

性状 : 液体
色 : ほぼ無色
臭気 : 微特異臭
PH(原液) : 4.5~6.5
比重(d₂₅⁴) : 0.99~1.01
粘度(20°C、mPa.s) : 2以下
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲
沸点 : 約 100°C
融点 : -
引火点(測定方法) : 示さず
蒸発速度 : データ無し
燃焼性(固体、ガス) : データ無し

燃焼又は爆発特性	: データ無し
蒸気圧	: データ無し
蒸気密度	: データ無し
溶解温度: 水溶解性	: 水と任意に溶解
溶媒溶解性	: 有機溶剤との接触により、成分濃度が低下しやすい。
n-オクタノール/水分配係数	: データ無し
発火点	: データ無し
自然発火温度	: データ無し
分解温度	: データ無し

10.安定性及び反応性

安定性	: 直射日光により成分が分解するので、直射日光を避けて保管運搬する
反応性	: 自己反応性、水との反応性、自己重合性なし。
避けるべき条件	: 酸類、塩類、溶剤類との接触。高温、凍結を避ける。
避けるべき材料	: 情報なし。
混触危険物質	: 強酸化剤との接触
危険有害な分解生成物	: 情報なし
その他	: 情報なし

11.有害性情報

急性毒性(経口)	(製品のデータ)	: 情報なし
	(成分のデータ)	: 情報なし
急性毒性(経皮)	(製品のデータ)	: 情報なし
	(成分のデータ)	: 情報なし
急性毒性(吸入: ガス)	(成分のデータ)	: 情報なし
急性毒性(吸入: 蒸気)	(成分のデータ)	: 情報なし
急性毒性(吸入、粉塵、ミスト)	(成分のデータ)	: 情報なし
皮膚腐食性/刺激性	(製品のデータ)	: 情報なし
	(成分のデータ)	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	(製品のデータ)	: 情報なし
	(成分のデータ)	: 情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	(製品のデータ)	: 情報なし
	(成分のデータ)	: 情報なし
生殖細胞変異原性	(製品のデータ)	: 情報なし
発がん性	IARC	: 認定されていない。
	NTP	: 認定されていない。
	日本産業衛生学会	: 認定されていない。
生殖毒性	(製品のデータ)	: 情報なし
	(成分のデータ)	: 情報なし
特定標的臓器・全身毒性	(製品のデータ)	: 情報なし
(単回曝露)	(成分のデータ)	: 情報なし
特定標的臓器・全身毒性	(製品のデータ)	: 情報なし
(反復曝露)	(成分のデータ)	: 情報なし

吸引性呼吸器有害性	(製品のデータ)	: 情報なし
	(成分のデータ)	: 情報なし

12.環境影響情報

生体毒性	(製品のデータ)	: 情報なし
	(成分のデータ)(急性)	: 情報なし
	(慢性)	: 情報なし
残留性/分解性		: 情報なし
生体蓄積性		: 情報なし
土壤中の移動性		: 情報なし
その他	(製品のデータ)	: 情報なし

13.廃棄上の注意

: 内容物/容器を、国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
 焼却する場合、関連法規・法令を厳守する。
 廃棄する場合、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物収集・運搬・処理業者と契約し廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を厳守し、適正に処分する。

14.輸送上の注意

国連番号、国連分類
 番号: 1791
 品名(国連輸送名): 次亜塩素酸溶液
 国連分類(輸送における危険有害性クラス):8
 容器等級: III
 指針番号: 154
 環境有害性
 海洋汚染物質-急性有害性
 海洋汚染物質-長期間有害性
 バルク輸送における MARPOL 条約付属書 II 改訂有害液体物質及び IBC コード
 ・有害液体物質(Y類)…次亜塩素酸ナトリウム
 ・有害でない物質(OS類)…水

15.適用法令

国内的用法例	
化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない
化審法(特定化学物質、監視化学物質)	: 該当しない
労働安全衛生法	: 該当しない
毒劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 該当しない
高圧ガス保安法	: 該当しない
火薬類取締法	: 該当しない
船舶安全法	: 該当しない
航空法	: 該当しない
その他の法令: 海洋汚染防止法	: 該当しない

16.その他の情報

参考文献

- 1) 化学物質管理分野、化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)、製品評価技術基盤機構(NITE)
- 2) GHS 関連情報、GHS 分類結果、製品評価技術基盤機構(NITE)
- 3) 職場の安全サイト、化学物質、GHS モデル、SDS 情報、厚生労働省
- 4) 許容濃度の勧告(20014)、産業衛生学会
- 5) TLV s and BEI s .2014.ACGIH
- 6) 国連連合(2013)、改訂 5 版 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS)及び付属書 3(仮訳)
- 7) 経済産業省、事業者向け GHS 分類ガイダンス(平成 25 年度改訂版(Ver.1.1))

【注】・本 SDS 記載内容のうち、含有量、物質科学的性質等の値は保証値ではありません。

・注意事項等は通常的な取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合はその点ご配慮をお願い致します。

・危険物有害性情報等は必ずしも十分とは言えないので、本 SDS 以外の資料や情報も十分にご確認の上、ご利用下さいませようをお願い致します。

